
根暗ちゃんと墮落くん

星野海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

根暗ちゃんと墮落くん

【Nコード】

N0171Z

【作者名】

星野海

【あらすじ】

少し道を外れたら、彼女と出会った

墮落の一途を辿ってきた僕は、ある日、一人の女子と邂逅することとなる。

果たして、僕と彼女は如何なる道を進むのか。

……多分、墮落三昧になるんだろうけど。

プロローグ（前書き）

本作者は西尾維新先生、森見登美彦先生、人間人間先生が大好きです。故に、文体や表現等に似通った点が見られるかもしれませんが、そこはどうか、大目に暖かい視線で見てください。

見てくださった方々には感謝の限りです。

目に留めてくださった方々にも感謝の限りです。

到らぬ点が乱れ打ちだとは思いますが、寛容な皆様の心で、どうか許容してください。

プロローグ

今までの人生、年齢で言えば十七年と数ヶ月、僕は際限なく墮落の一途を辿ってきた。数多く眼前に広がる木の根のような未来を見据え、その内一つは必ずある最悪の一手というものを、ある種選りすぐんで選び抜いて、ただひたすら自堕落な環境に身を置いてきた。おかげ様で、今、僕は当然の如く最悪の名に相応しい立場にいる。

友達は一人もいないし、一度も出来たことがない。勉強に励む暇は全て無駄な時間へと姿を変え、人の厚意も反故にした。

助けを求められれば追い討ちをかけ、善意には悪意を返し、崇高な芸術作品を落書きに変え、人の努力を水泡に帰し、援護には無気力で応え、傷口を抉り塩を塗り付け、悲哀の涙を鼻で笑い、会話の輪をことごとく破滅させてきた。

人間関係の破綻、満身創痍の悪化、事態の改悪、状況の死滅、希望の排除、絶望の勧誘、裏切りの推薦、環境の衰退、虐めの優先、救助の妨害、規律の廃止、苦手意識の増加、助言の忌憚、可能性の放棄、邪魔の応援、個人の無視、過去の遺棄、詰問の強化、拷問の改良、意見の排他、公序の欠落、風紀紊乱の崇拜、諧謔の廃止、個性の希薄化、無駄の優遇、無関係の強制、非難の集中、大過の増殖、失敗の踏襲、駄作の公開、苦痛の延長、損得の曖昧、現実の否定………という感じに、かつての僕の所業の数々を上げれば切りがない。

上げれば上げる程、僕の生きた軌跡、もとい遍く生き恥をまざまざと証明する証左となるのだが、しかし、僕は一切恥じるつもりはない。断じて宣誓しよう、僕は恥じるつもりはない。

僕が選んだ生き方である、何を恥じる必要があるものか。今時、蛆虫の如く世に蠢いている、目前の選択肢に左右され、結果が見え透いている中で無難な道を選び、我が道を進んだ僕のような勇猛果敢な人物を、普遍を抑えてしたり顔して、自らより下だと馬鹿にす

る。そんな阿呆になるくらいならば、僕は、ならずして勇ましく不埒の獣道を歩むだろう。

定められたレールの上を、ただ速いか遅いか、優秀が愚劣で争う。そんな詰まらぬ人間になるのであれば、僕はいつそ、この命を擲ち、自由気儘の付和雷同とした生き方を指し示す。

歓迎されぬ、感動されぬ。

そんなことは分かり切っている。

当たり前の道を当たり前のように進む。

故に、僕は高らかに道歌しよう。

不満を極める下らなさを。

平凡を逸脱する高尚さを。

拍手を求める。大地を割らんばかりの拍手喝采を。

……さて、こんなところで話を切り上げようと思うのだが、果たしてどうだろう。

見るに耐えない、聞くに耐えない僕の戯言を見させられ、聞かせられるのは些か不満があるのではなからうか。

しかし、拒否しようとするなら、やめておくのが勝ちだ。先述の通り、僕は大変ねじ曲がった性根を所持しており、更に現段階に於いても目下発展途上なのだ。下手に刺激をすると、何かと疼いてしまふ。

適当に聞き流しながら、有耶無耶に受け流すことをお勧めする。

まあ、取り敢えず、勇猛果敢なんだが馬耳東風なんだが判断しかねるが、ひとまず語らせてもらおう。

僕と彼女の物語を。

根暗と墮落の話を。

僕は断固、自らの意志を貫く所存である。

しかし何分、見るに耐えない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0171z/>

根暗ちゃんと墮落くん

2011年11月30日21時56分発行